

平成26年度宮崎県特別支援教育研究連合知的障がい教育研究部会
－第2回理事会－

開催日時 平成26年11月28日(金)
13:00～14:00

会場 みなみのかぜ支援学校

1 開会行事

(1) 会長あいさつ

2 第2回理事会

(1) 平成26年度予算案の変更【みなみのかぜ】

- ・ 小中特研への負担金補助額を42,690円とする。

承認

(2) 次年度以降の九特連、全特連大会の提案者等について【みなみのかぜ】

- ・ 平成26年10月29日に行われた第2回九特連評議委員会にて、九州大会の提案輪番表の変更があった。
- ・ 九州大会の第6・7分科会については、各県独自の内容となる。
- ・ 九州大会への小中学校からの提案参加校は、県小中特別支援教育研究会理事会で決定する。
- ・ 全国大会への提案県・・・2県ずつ交代。九州大会との関連で調整することがある。

承認

(3) 平成27年度以降知的部会研究大会について(資料)【都城きりしま】

- 昨年度の知的部会実行委員のアンケート結果
- 過去の大会の講座及び講座講師ほか
- H26年度知的部会研究大会における美術科講座候補者リスト
- 次回知的部会研究大会のアンケート希望結果から内容を10項目に整理

(4) 平成27年度第7回知的部会研究大会の内容に関する提案【児湯るびなす】

- ①「みやざき特別支援教育推進プラン(H24.12月)」より
 - ・ 本県の小中学校と特別支援学校の課題
- ②第6回知的部会研究大会後の「今後の希望内容に関するアンケート」より
- ③(①②を受けて)第7回知的部会研究大会の内容に関する提案
 - ・ テーマ
 - ・ 全体会
 - ・ 分科会

〈質疑〉

- ・ みやざき中央支援学校の会場は全体会で何人程入れるか。
→380人程である。(みやざき中央)
- ・ 分けて行うのであれば午前と午後同じ話をされるのか。
→キャパシティの関係で同じ話を2回して頂く事になる。(児湯るびなす)
- ・ 分科会のテーマが普通学級で度々出る課題のようだが。
→全職員を対象とする研究大会であり、支援学級でも似た悩みはある。現段階では“案”である。知的の児童生徒を担当している教師は我流で授業を行っている場合も多く、指導法を研修する場になると良い。(大会運営事務局)

- ・ 教材広場のエリア動線の外だったので、動線に入っていると良いと思った。
→以前は受付の側だった。が、場所が狭く広い場所をとということで、前回の場所になった。(みやざき中央)
- ・ 午前中の会で4業務に分かれた。お弁当係については業者委託へ向けて考えている。(児湯るびなす)

大会の形態、内容について事務局を中心に引き続き検討を行う

- (5) 平成27年度第7回宮崎県特別支援研究連合知的障がい教育研究部会研究大会(案)
1次案内【児湯るびなす】

- ・ 2月に各学校へ発送する。

3 閉会行事

- (1) 副会長あいさつ